

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」円座校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		空間の有効的な活用を今後考えていきます。
	②	職員の配置数は適切である	2	2		状況に合わせて会社より指導員を増員予定です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	トイレの便座に幼児用のものを検討しようと思っています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎日清掃を行い、衛生面の配慮をしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	毎日の職員ミーティングにて周知できるように工夫しています。	業務として定着を図っていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者様にも意見をもらいながら取り組んでいます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		ワムネット、会社ホームページに公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0		第三者機関は実施しておりません。他県の事業所の意見等を踏まえながら現在進めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	内部研修・外部研修に参加できるものは参加しています。	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	主観的になりすぎないように職員間、保護者様との連携を密に行っている。	事業所だけでなく、本人を多面的にみるために学校連携等を強めていきます。

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	会社内で統一されたシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		会社内のツールにて支援内容の項目を適切に選択しています。またガイドラインにおいても、会社内の内部研修やガイドラインを確認できるものを会社の共通ツールで確認しながら行っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	毎日のMTGにてケース会議等行って、職員全員が意見を言って、より良い案がつけられるようにしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0		固定化されているものでも保護者様に意図とねらいを説明する。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	就学前に必要な支援として利用者様にご了承を得て、小集団をしています。	現在は1対1での支援をベースにしています。今後、本人に合わせて調整できるようにしています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	1対1の支援の中でも随時協力しながら適切に支援ができるように心掛けています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	その日のうちに共有しなければならない事柄じゃ支援終了後に共有をしております。	事務室内に掲示板をはって情報の行き違いをなくすことに努めています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		意図とねらいに対して、本人の言動や様子を記載しております。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	これからますます保護者様との情報共有を行い、よりいいものになるように取り組んでまいります。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	時間帯により参加できる際は全員で参加している。(当事業所が会議場の際)	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1		今後、連携支援を念頭に取り組んでいきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		現在利用はないが、今後必要があれば受け入れ前にしっかりと相談調整を進めていきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	利用者様の希望により病院への連携も増えてきました。必要な場合事業所内の相談をいかして適宜連携していきます。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	アセスメント後計画をたて保護者と共有を図り、実施していく。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	利用者様のご希望によりきりりでの本児の様子が生活にも還元されていくように学校と適宜情報共有をさせて頂いています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	他の事業所の良さを連携した際に助言等を受けています。	利用者様に相談があった際にどのようにサービス機関があるのかより伝えられるようにしていきます。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2		現在は機会を設けてはいませんが、希望があれば検討していきます。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		地域とのつながりの機会を増やし、研修等にも積極的に参加していきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	支援後に支援記録を書面でお渡しして、子どもたちのことについて支え合っていけるようにその都度共通の理解をさせて頂いています。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0	他校舎と連携してイベントという形で家族支援という形のものを提供させて頂いています。	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時以外にもその都度、気になることがないか声掛けをしています。	契約時にお伝えすべき点の把握を徹底します。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		振返りの際、子どもたちの状態をお伝えし、必要に応じてアセスメントを再計画し定期的に確認して頂けるようにします。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		相談しやすい環境調整を行い、相談後の本人の様子もしっかりと共有できるように努めてまいります。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2		現在は開催していないが、今後検討していきます。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	4	0		マニュアルに沿って、基本的な対応は図っていくが、

	相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している				状況によっては相談員とも協力し、柔軟な対応が取れるよう努めてまいります。
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	ホームページや「きらりだより」にて、情報発信をしています。	
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	各自の情報やパソコンは鍵付きの書庫に保管しています。	
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		本人の状態や特性に応じた視覚的情報や、聴覚的情報を分かりやすく提示できるように努めています。
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		事業所主体で開催することはないが、地域で開催されるものに参加しています。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0		各種マニュアルに沿って対応方法を決めており、その流れを細かく保護者にも周知できるように努めてまいります。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	毎月様々な状況に応じた訓練を職員で行い、必要に応じて子どもたちと一緒に避難場所の円座校に行くなど行っています。	
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1	保護者へ病院受診歴や薬の変更は随時間かせて頂いています。	
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	お菓子等のものに対しても必ずアレルギーの確認を行っている。	

④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	毎月ヒヤリハットや事故報告書を作成しています。事業所内で回覧しています。	机の角を丸くすること。扉を開ける時に人がいると危ないという絵をはることなど、子どもたちにも伝わるツールを作成しています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	月に一回ミーティングにて具体的な事例を通して研修を行っています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	利用者様に事前に身体拘束するのはどのような場合か契約時に説明をさしあげる。	まずはやむを得ずの状態をつくらない状態になるよう職員と尽力いたします。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」円座校 保護者等数（児童数）：4 回収数：3 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	0	0	0		子どもたちの特性に応じて机の配置を事前に職員と共有して支援に差支えの無い環境づくりに努めています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	0	0		状況に応じて会社より増員予定です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	0	0		椅子の配置を子どもたちがかべつたいに上ることのないように、椅子を壁からはなすようにしています。ご迷惑をおかけしていますが、
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	0	0		最低限の設備を整え、障害物をなくし活動しやすい環境をつくっていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	0	0	0		保護者のニーズに漏れがないか確認しながら今後も維持、継続できるようにしていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	0	0		周知をしっかりと行います。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	0	。	児童発達支援計画に沿った支援が行われるようにモニタリング等でその都度支援計画の継続達成変更をして支援に還元しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	0		本児のやる気に繋がりがりやすいように、様々な情報を伺えるようにします。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	0	0	0		必要に応じて交流や情報共有の場を増やしています。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	0	0	0		今後も運営だけでなく疑問や不明点等にも丁寧

者 へ の 説 明 等							寧に対応できるように心がけていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	0	0	0	計画書を基盤として進めていきたい。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	0	0	プログラム構成ではないが必要に応じて行っていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	0	0	0	書面以外に口頭で支援内容の確認をとり、伝えるだけでなく伝わったようになるように努めています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	0	支援の振返りに家庭に持ち帰れることをお伝えしていけるように心掛けています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	0	1	希望者等の声もお聞きしたため、イベント等で保護者会も開催を考えていきたいです。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0	0	0	電話の対応が迅速に行えるように事務室の掲示板にて共有するようにしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	0	0	事業所内相談や電話でお聞きした内容を支援にいかせるように、会社内のツールで情報伝達の相違がないか書面に起こして確認するものがあります。今後も利用者様のご迷惑をおかさない手段で、こどもたちのことについてよりよい支援のことをお話したいと思っています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	0	0	0	月2回きり円座校のブログをあげております。ラインも
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3	0	0	0	鍵付きに書庫に保管しています。
非 常 時 等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	0	0	0	防犯マニュアルを毎年新しいものに差し替えて、避難訓練を実施しています。ブログ等にてしています。

の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0	0	0		利用者も含めた訓練を行い、掲示物などでお知らせしていくことを努めます。	
	満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3	0	0	0		これからも楽しみにして頂けるようにします。
		㉓	事業所の支援に満足しているか	3	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。